

---

# 「自殺志願の大魔女と世間を揺るがす大盗賊」

しゃんぐり・ら

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

「自殺志願の大魔女と世間を揺るがす大盗賊」

### 【Nコード】

N8304R

### 【作者名】

しゃんぐり・ら

### 【あらすじ】

かつての大魔女の抜け殻と、世間を揺るがし続ける大盗賊のお話。

## （前書き）

縦書きで読むことを推奨します。横だと見にくいかもしれません。

これは、大都市ルルイエの神殿に封じられ続けているというかつての大魔女「ク・リトル・リトル」と。大都市ルルイエにて様々な悪事を続ける大盗賊「ニヤルラトテップ」の、旅が始まる前の出会いの物語である。

鎖に繋がれて座らされた、首までの水位の水の中に佇む少女。外見は十代後半といった程度の、曖昧な推測から判断された外見。俯いたままのその少女の名は、かつて世を恐れさせた大魔女「クトウルフ」の抜け殻、自殺志願の魔女「ク・リトル・リトル」。鎖に繋がれ、風ひとつ通すこともない神殿に封じ込まれ、長い日々が過ぎて弱体化してしまったが故にその風貌、その名を持っている、否、持たされている。

「……………」

掠れた声で少女が何かを呟いた。しかしそれは、水滴が滴り落ちる音に掻き消されてしまった。彼女が何を伝えたいのかはわからない。しかし、恐らくだが彼女はここから出してほしいのだろう。俯いてよく見えない顔から首筋へと、涙が伝っていた。彼女は大魔女であつたその時も、死ぬほどまでに苦しい時、深い悲しみ以外に涙を流したことなんて無かつたからである。それ程苦しいのか、はたまた悲しいのだろう。外に出られない、その苦しみと悲しみ。

ひゅう、と一つの風が入り込んできた。この場所に、風が入る事等有り得ないというのに。そしてその風音のすぐ後に、足音が

した。ぺたぺたと、サンダルを鳴らすような足音。その足音の主らしき人物の、混沌とした夜空のように黒い影が、ずっとク・リトル・リトルの身体にかかる。

「……よお、大魔女さんよ」

言葉遣いからして、男と推測できた。ク・リトル・リトルを繋ぐ鎖の側に設置された炎の明かりが、その人物を照らし出す。……そしてその人物がすぐに、男と断定できた。外見からして、十代後半から二十代前半といった所だ。

彼の名は、「ニアルラトテップ」。世間を大きく騒がせた大盗賊、ニアルラトテップである。這い寄る混沌と謳われる大盗賊。その彼がク・リトル・リトルにわざわざ神殿の厳しい守りを掻い潜ってまでやってきた理由は一つ。

ク・リトル・リトルの力を借り、この世の全てを盗もうと企んでいた。ただそれだけであり、しかしそれ以上は無い理由である。しかしかつての大魔女クトゥルフではなく、その抜け殻と化しているク・リトル・リトルをまじまじと見つめたニアルラトテップは、残念そうに溜息を吐いた。

が、その後すぐにク・リトル・リトルの鎖を短剣フランベルジェで断ち切る。元から水のせいで錆びていたせいだろう、すぐにその鎖は崩れ去るように切る事が出来た。その事にク・リトル・リトルは気づいたらしく何十年振りかに顔を上げれば、ニアルラトテップを見つめる。

「……………」

その瞳は、感謝の念がこもっていた。はっきりとそれが分かる程に、その瞳は明るかった。その様子を見つめたニアルラトテップは、「礼なんぞいらねえからついてこい」とだけ言うとかク・リトル・リトルの手を引いて外へと向かう。彼が考えるに、外の世界でまた魔法を使っていけば、最初は弱くとも後からかつてのような魔法を操れるのではないかと考えたのだ。だからこうして、手を引いている少女を見捨てることなく外へと連れ出しているのである。

外の世界を何十年振りかに見た少女は、その眩しさに片目を  
瞑り。

外の世界を知りつくしたその大盗賊は、その広大さに大きく  
笑い。

「……よし、旅に出るぞ」

「……………」

少女はその言葉に頭上にクエスチョンマークを浮かべていたが、  
それもつかの間。ひょいっと大盗賊に抱きかかえられ、神殿の入り  
口に居た大盗賊の愛馬「アザトース」に大盗賊が乗った瞬間、その  
後ろに乗らされ「しっかり捉まってるよ」と言われると、ぎゅっと  
大盗賊の服を強く掴む。

そして大盗賊が馬の鞭を軽く叩くと、アザトースは大きく鳴いた後  
勢いよく走りだした。

大都市を、馬と馬に乗った二人の少年少女が駆け抜けた。

片方は、世間を揺るがし続ける大盗賊の大悪党。

片方は、かつて世界を脅かした偉大なる大魔女。

f i n

## （後書き）

クトゥルフ神話を元に、ちょっと書いてみました。

続編予定はわかりません。気が向いたら書くかもやしません。

書くとなったら設定考えるのに時間かかるのでどうかご了承をば。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8304r/>

---

「自殺志願の大魔女と世間を揺るがす大盗賊」

2011年3月22日14時40分発行